

モノと生きるために

机の上と 押入れを見れば どの人の
今の心理状態が分かりますと言われます。
モノを捨て 身の回りをシンプルにすると
感情もシンプルになっていくそうです。

モノであふれる時代に
モノと一緒に どう生きるか? という
テーマで考える時間を持つことも
大切なことのように思います。♡

明石家さんまさんが...

人は歳をとると 景色や花を見て感動できるよう
なってくる。田舎の風景にも 趣を感じる事ができる。
若いときは 興味がなかつた 梅の花も美しいと 年々思える。
感覚も歳をとったのだらう。♡

いっまでも若々しく テンポよく話す 明石家さんまさん(63才)。
先日、さんまさんのテレビを見ていた 妻が、さんまさんは
感覚が歳をとらないように、きれいな景色や花を見た
ときに 感動し始める自分に 「違う!! 違う!!」と
言い聞かせ続けてきたと言っていたそうです。
笑いの感覚がサビないように、さすがプロですわ。

おじいさんだよ

Vol.160 2018.6月

いつもありがとうございます

作者: 鳥越介順

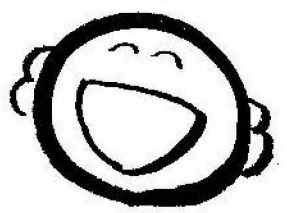


働いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

大笑い 笑って元気!元気!

サラリーマン川柳
第一生命さん ありがとう

- ヨガマシヤ
- いっしょに昼寝の
- 敷き布団
- 胃袋入
- 証拠隠滅
- パパの分
- 電子化に
- ついて行けず
- 新対応
- 汗だくは
- イケメンだけが
- 許される
- ほうあれよ
- 連想ゲームに
- 花が咲く
- 父からは
- ライン来たかと
- 電話くる
- 禁煙し
- それでも家で
- 煙たがれ



書きにくいことを
スパッと書いた
ときのこと

妻からダメ出し

このニュースレターは書き上げると
先ず 妻に読んでもらう
先月号(5月)のときは
妻「あー私には関係ない話やわ
同じように思う人は多いいんじゃない?」
私「んー とうなんか
でも書きたかたことやし こねでいくわ」
というやり取りでした。

時には
妻「内容が難しすぎるわー」とか
「日本語になってないよ」とのダメ
出しもあります。♡
中には
妻「よく 思いかけて書いたじ」と
お褒めの言葉もある ↑